

近年、度重なる災害や新型コロナウイルス感染症で亡くなられた方々に対し、心から哀悼の意を表しますとともに、被災された皆様にお見舞い申し上げます。一日も早い被災地の復旧復興と新型コロナウイルス感染症の収束を心から願っております。

さて、本日ここに日本赤十字社奈良県支部創立 126 周年・奈良県赤十字血液センター創立 50 周年を記念し「奈良県赤十字大会」を開催され、日頃より赤十字の活動に深く関わっておられる皆様、そして平素よりその活動を支えてくださっている皆様とお会い出来ましたこと、心よりうれしく思います。

赤十字は国際的な強い絆のもと、今日に至るまで、世界各地で人道・博愛の精神のもとに活動を行っていますが、これは、今回表彰を受けられた皆様をはじめ、赤十字の活動を様々な形で支えてくださる多くの方々のご理解とお力添えがあってこそ成り立つ活動でございます。そのことに真摯に思いを致し、心から感謝いたします。

我が国におきましても、日本赤十字社がその使命を果たすためには、これまで、そしてこれからも、ご参会の皆様を始めとする多くの方々のご理解とお力添えは必要不可欠であり、感謝の念を新たに致す次第でございます。

昨今、新型コロナウイルス感染症の拡大は日本だけではなく、世界的にも深刻な影響を及ぼしております。そして、世界のいたるところで相次ぐ自然災害や紛争などにより、人道的な支援を必要としている方々が、数多くおられます。

こうした困難な状況にあって、奈良県支部において様々な困難に直面してもなお、任務に取り組む赤十字関係者の高い志を頼もしく思いますとともに、その活動を支えてくださる多くの方々の他者を思いやる精神に思いを致し改めて深く敬意を抱いております

今後も赤十字に寄せられる期待と要請はますます高まるものと思われま。皆様には本日の式典を契機として、赤十字の尊い使命を胸に、より一層充実した活動を進められることを切に願っております。そして、その精神が多くの方々に理解され、共有されることにより、赤十字運動の輪が広がっていくことを心から願い、私の言葉といたします。